

社長、打球を受けて脱臼!?

みなさん、こんにちは。

去る5月16日に毎年恒例の川崎市民野球大会がありました。

プレイボールは10時20分。

さわやかな初夏を思わせる快晴の元、ナイン達はさわやかにグラウンドに散らばりました。

相手チームは見た感じ、平均年齢30歳前後のチーム。

我らチームファインプレーは62歳の監督、40代前半が4人、20代前半が8人で、平均年齢は29歳です。

20代の若い子たちはすべて、社長の妻の教え子で、学生時代にアルバイトをしていたメンバーです。

ライトを守る社長を除いて、ほとんど高校までの野球経験者のチームファインプレー。

当日も、1回表、ランナーを1人出したものの、エースが後続を断ち、その裏の攻撃はヒットに足を絡め2点を先制! 楽勝で勝てると思っていました。

しかし、

しかし、

しかし、、、



2回に入ると突然、エースM君が乱調! ストライクがなかなか入らなくなり、四球の連発。押し出し! 押し出し! 相手はバットを振らずに、3点をもらってあっさり? 逆転。

その後2番手、3番手も押し出し、押し出し、押し出し。

終わってみれば被安打3 (タイムリー1本) にもかかわらず、ほとんど押し出しで11対4の自滅負けでした。

こちらはホームランやヒットがバシバシと出たにも関わらず度重なる押し出しにより、守備陣もガラダラムード。

そして、運命の6回表。マコトのエース、我らが社長の守っているライトに打球が飛んできました。社長はそのフライト捕ろうと張り切り、打球が落ちてくる位置に立ち、両手を広げてかっこよく(!?) ボールを捕ろうとした瞬間..

昨夜のプライド会パーティーの疲れがでたのか、右手でボールをキャッチ!!!!!!

『タイム!』



ベンチに戻って右手を見ると、人差し指がパンパンに腫れています。

「ヤバイ! 骨折している!!」と誰もが信じて疑いませんでした。

とりあえず、いそいで患部を冷やし、副木をし、試合終了とともに病院へ駆け込みました。

病院ではかなり待たされ、救急外来からは認知症のおばあちゃんが「痛いよ～」と泣き叫ぶ声がコダマしていました。看護師さんも大変です。おばあちゃんの泣き叫ぶ声を聞きながら待つこと30分。

「萩原さぁん」と呼ばれ、やっと診察室に。

中にはヒョロヒョロとしたヤサオトコ風のドクターが待ち構えていました。腫れた指を見て、「おお～、派手にやりましたねえ。まずはレントゲンを撮ってきてください。」と言われ、レントゲン室へ。レントゲン技師さんにも「おお～、派手にやりましたね。」再び診察室に戻ると、レントゲン写真がありました。まるで人差し指がだるまおとしのようになっていて、骨折ではなく、脱臼でした。

ドクターに「横になってください。」と言われ、横になるとおもむろに指を引っ張ります。

それがかなりの痛さらしく、社長は足をバタバタさせ悶絶しておりました！！

整復(?)が終ると、またレントゲンを撮り、とりあえず元に戻ったことを確認して痛み止めを処方。

あまりにも珍しい指の脱臼写真に感動し、「先生、レントゲン写真の写メ、撮っていいですか？」と聞くと、「いいですよ。珍しい脱臼の仕方ですね。普通、脱臼は第一関節か第二関節のどちらかに起こりますが、社長は両方です。」と、ドクターも感動した模様。



社長、妻、ドクターと3人で大笑いして病院を出ました。

打球を捕ろうとして脱臼とは、笑い話にもなりませんね。

そしてこのあと想定外の事実が・・・

それはまたのちほど。。

つづく・・・